

三浦市立病院 乳癌検診の勧め

診療部長 きたに ゆういち
木谷 勇一



近年の国立がんセンターの統計によると、2008年の日本における癌部位別罹患数（癌になられた人の数）の順位は、男性が胃、肺、大腸の順で、女性は乳癌、大腸、胃の順で乳癌は女性のかかる癌の中で一位でした。また2011年の死亡数の多い癌の順番は、男性が肺、胃、大腸の順で、女性は大腸、肺、胃の順で乳癌は5番目でした。このように乳癌は女性の人生に大きくかわかる病気の一つで、近年増加しています。これには女性の社会状況（未婚・晩婚による未産等）、食生活（動物性脂肪食の過剰摂取）や肥満がリスクの一因と考えられています。そして乳癌は早期であれば、適切な治療を受ければ根治する可能性が高い癌です。具体的には、

しこりが2cm以下で腋下のリンパ節転移のない人の約90%は10年生存が可能といわれています。

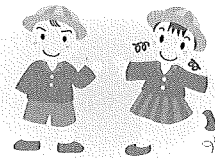
ではどうすれば、乳癌を早期に発見できるでしょうか？ひとつの方法が自己検診（セルフチェック）です。月に一度乳腺にしこりがあるかどうか、異常分泌物があるかどうか、脇の下のリンパ節が腫脹しているかどうかを自分自身で検診する方法です。少しでもいつもと変わっていたら病院で精密検査を受けられるのがよろしいでしょう。もう一つの方法がマンモグラフィによる検査です。これは、乳房を軽く圧迫しレントゲン撮影する方法です。マンモグラフィは自覚症状のない乳がんを早期発見することも可能です。乳癌は早期に発見すれば治ることも可能な癌で、そして自分で発見することもできる癌です。ぜひ女性の方は一か月に一度のセルフチェックと、マンモグラフィ検診の受診をお勧めいたします。

三浦市小児医療費助成制度について

三浦市では、0歳から小学3年生までの入院・通院、小学4年生から中学卒業までの入院（所得制限あり）の保険医療費の自己負担額を助成しています。助成を受けるためには手続きが必要になります。お子さまの年齢にあわせて、次の手続きをお願いします。

*0歳から小学3年生までの手続き（小児医療証を交付します）

- 時期 出生または転入時
- 持ち物 印鑑（朱肉をつけるもの）
お子さまの健康保険証



※保護者の所得確認のため、転入の方については前住所地の所得証明書が必要になります。年度については担当にお問い合わせください。

*小学4年生から中学卒業までの手続き（医療費の払い戻しをします）

- 時期 入院から2年以内
- 持ち物 医療機関の領収書、振込先金融機関の通帳、
印鑑（朱肉をつけるもの）、お子さまの健康保険証



※その他、養育医療や育成医療、特定疾患、他公費負担医療の証、限度額認定証、高額療養費等の決定通知書などがあればあわせてお持ちください。

窓口 保険年金課または南下浦・初声出張所窓口（出張所では医療証は後日送付）

問合せ 保険年金課（☎内線 302）